乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

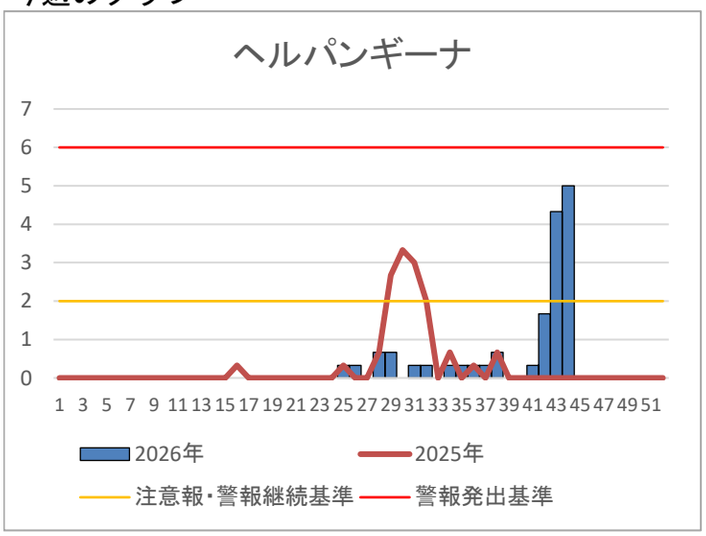
（小児科定点、急性呼吸器感染症、眼科定点、全数報告）

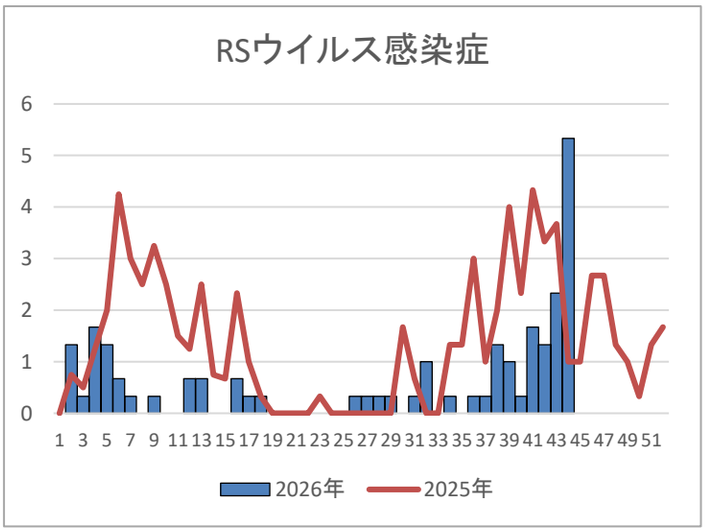
第 44 週　　2026年10月26日　～　2026年11月1日

今週のコメント

乙訓管内では、インフルエンザ等による学級閉鎖が2校でありました。
・「RSウイルス感染症」は、定点あたり報告数が、5．33（前週2．33）。京都府全体では、1．31（前週1．08）。
・「ヘルパンギーナ」は、定点あたり報告が、5．00（前週4．33）。京都府全体では、0．95。
・「インフルエンザ」は、定点あたり報告が、6．40（前週7．80）と増加。京都府全体では、8．21（前週9．83）でした。
・全数把握疾患では、結核1例（潜在性結核感染症）の届出がありました。
ヘルパンギーナは、初期には、発熱、のどに痛みと水疱が現れます。コクサッキーウイルスA群及びB群、エコーウイルスなどが原因で、これらはアルコール消毒が効きにくいです。飛沫感染、接触感染で感染し、便にもウイルスが排出されるので、おむつ交換後は、流水と石けんで手洗いが必要です。なお、RSウイルスも、アルコールが効きにくい病原体です。

今週のグラフ





注意報・警報継続基準　　警報発出基準

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	6.40	手足口病	0.00
新型コロナウイルス感染症	0.20	伝染性紅斑	0.00
RSウイルス感染症	5.33	突発性発しん	0.33
咽頭結膜熱	0.33	ヘルパンギーナ	5.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	流行性耳下腺炎	0.00
感染性胃腸炎	3.33	急性出血性結膜炎	0.00
水痘	0.00	流行性角結膜炎	0.00
急性呼吸器感染症	46.80		

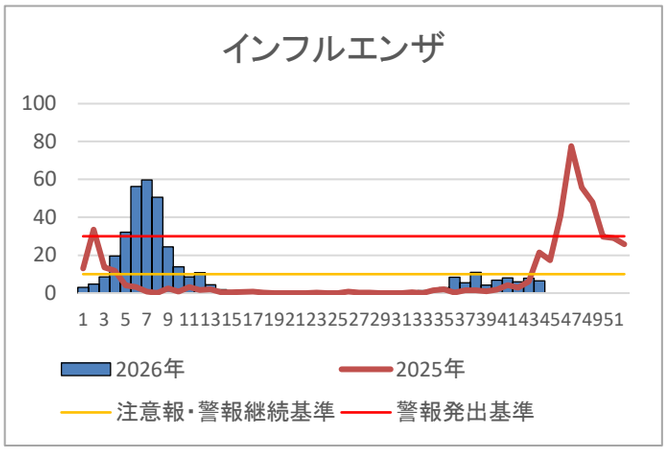
全数報告疾病
結核（1人）

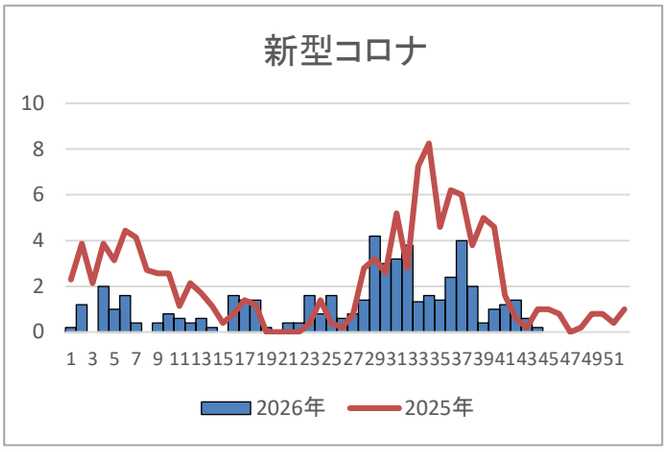
定点当たりの報告数　＝　１週間の報告件数総数　／　定点数
＊乙訓管内　急性呼吸器感染症定点　：５箇所
　　小児科定点　：　３箇所
　　眼科定点　：　１箇所

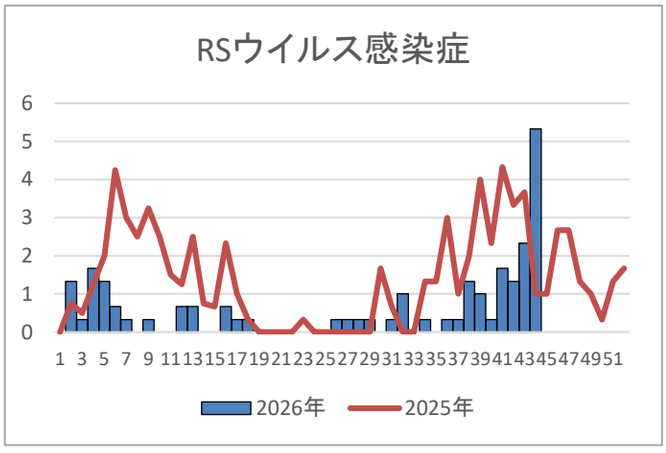
参考資料

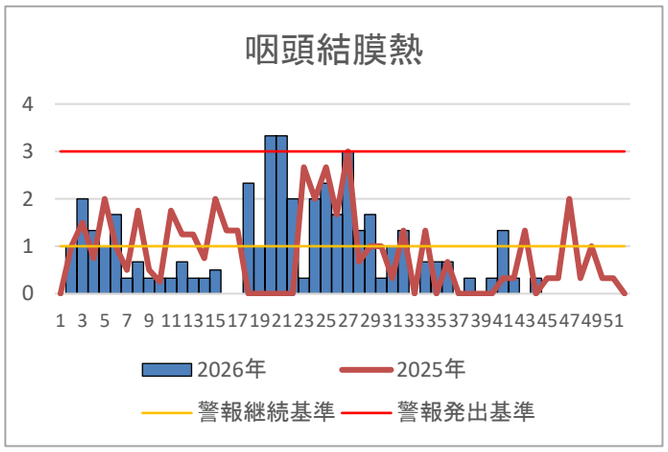
京都府感染症情報センター　https://www.pref.kyoto.jp/idsc/

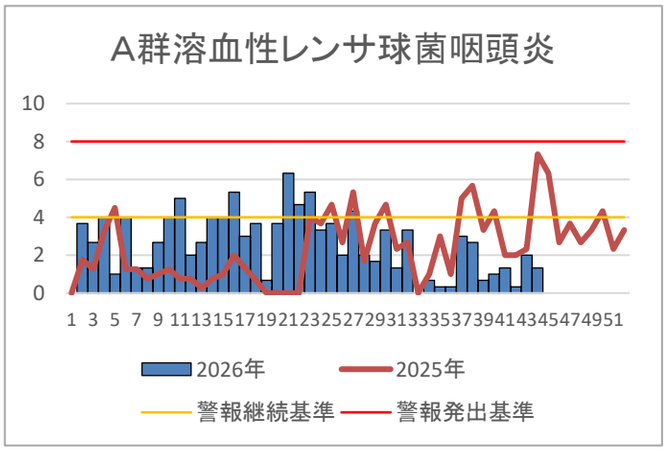
乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

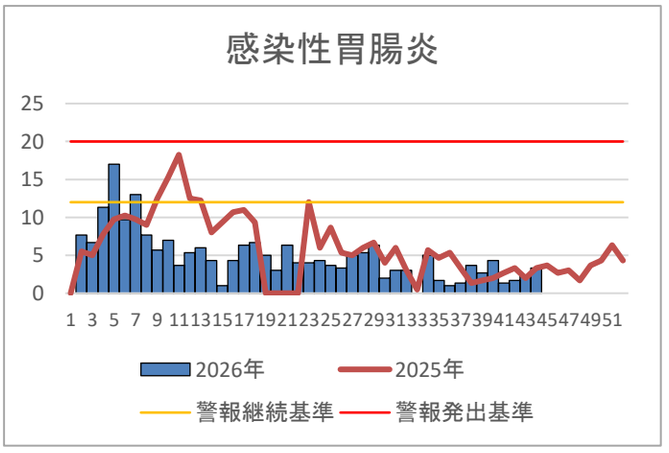


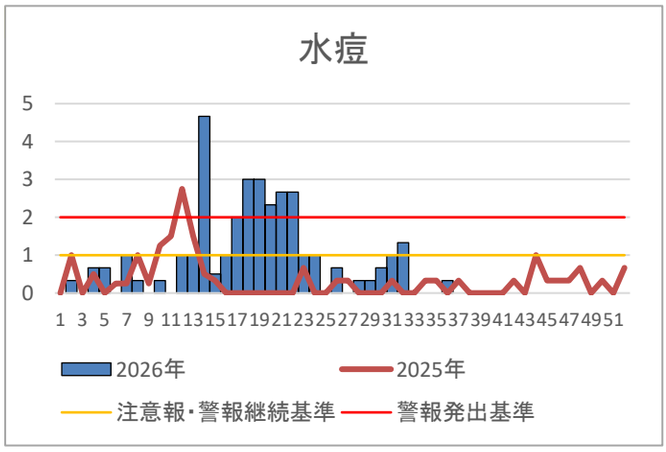


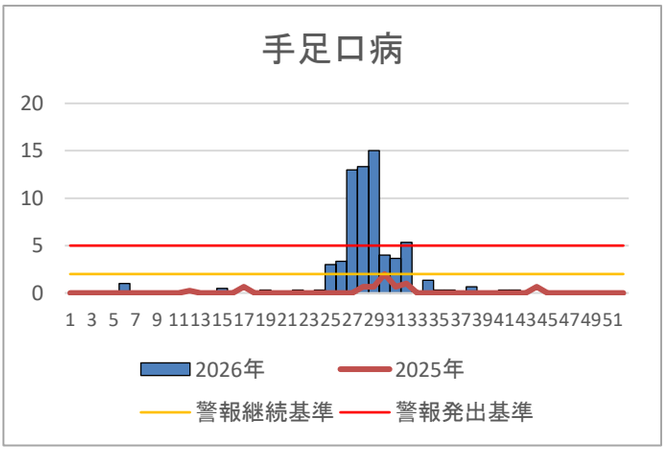












乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

